

		項目		自己評価
VI	研修と 研究	1 研修・ 研究への 意欲	① 研修会や研究会には、自己課題をもって進んで参加している。	3.8
			② 自分の保育について、自己課題を持って計画と反省を行っている。	3.5
			③ 専門書や専門雑誌を読んでいる。	3.3
			④ 自分の保育のあり方について、他の教師や責任者と話し合っている。	3.3
			⑤ 他クラブの見学や公開保育に、参加する意欲を持っている。	3.0
	2 教師と としての 専門性	① 児童についての理解のために、研修・研究を行っている。	3.5	
		② 指導計画の作成や記録のとり方、考察について研修・研究を行っている。	3.3	
		③ 環境構成について、研修・研究を行っている。	3.5	
		④ 保育者同士の連携・協力について、研修・研究を行っている。	3.3	
		⑤ 保護者への対応について、研修・研究を行っている。	3.8	
		⑥ マナー・常識・良識等の、研修・研究を行っている。	3.8	
		⑦ キリスト教保育について、研修・研究を行っている。	3.3	
		⑧ 統合保育(障がい児と健常児と一緒に保育)について、研修・研究を行っている。	3.5	
		⑨ 異年齢保育を理解し、研修・研究を行っている。	3.8	
	3 遊具・ 教材	① クラブの遊具や教材について、その特徴や基本的な使い方を知っている。	3.8	
		② クラブの遊具や教材について、様々な利用方法について研究している。	3.8	
		③ クラブの遊具や教材について、児童はどんな使い方をするか予測できる。	3.2	
		④ クラブの遊具や教材について、どのような使い方が危険か理解している。	3.6	
	4 施設等	① 施設の構造・保育室などの位置と大きさなどがもつ特質が、児童にとってどのような教育的な意味を持つか理解している。	3.5	
		② 庭の広さや、遊具の位置、隠れ場所の位置などが、児童にとってどのような教育的な意味を持つか理解し、保育に活用している。	3.8	
		③ 庭等の樹木や草花(雑草を含む)の名前、季節による変化などを理解し、保育に生かしている	3.6	
		④ 施設的环境を、いくつかのまとまりや関連性をもたせて保育の計画・実践に生かす事ができる。	3.5	
	5 課題の 認識	① 児童を取り巻く状況の変化について学習し、何が問題であるか、背景・原因・実態がどうであるか理解し、学習している。	3.5	
		② 児童を取り巻く様々の変化の中で、クラブとしてどのような教育を行わなければならないかについて考え、学習している。	3.4	
		③ アレルギーや自立の遅れなど、最近多く見られる問題について理解している。	3.2	
		④ 障害のある児童について理解し、保育のあり方について学習している。	3.4	
		⑤ 子育て支援などのあり方・考え方について学習している。	3.4	
		⑥ チーム保育について、その意義やあり方について研修・研究を行っている。	3.4	
		⑦ 危機管理について、現状のあり方について研修・研究を行っている。	3.8	
	⑥ 自らを 高める ために	① 趣味や人との関わりを、楽しんで取組んでいる。	3.2	
		② ボランティア活動をしている。	3.3	
		③ 保育以外の研修や話に興味がある。	3.2	
④ いろいろな人と、意見交換を行うように努めている。		3.0		